

## 大照学園 児童部閉所のお知らせ

令和3年7月1日

理事長 細井宏俊

大照学園の母体は浄土宗の良正院という寺院で、私自身ここで生まれ育ちました。

歴史的には少年保護施設から聾啞児（聴覚障害児施設）を経て昭和35年知的に障害のある障害児入所施設となりました。

ですので、子供時代の遊び相手はもっぱら施設の利用者さんたちで、遊び方や人間関係のルールなどを教えてもらいながら成長しました。当時の遊び方は自由で、施設内にある木に登ったり、ブランコを揺らせて遠くに飛び降りて競ったり、極めつけは二手に分かれての花火の（マッチ箱で点火しパーンとはじけるクラッカー）投げ合い大会など、間違いなく現在ならば大問題となるような、でもわくわくするような毎日でした。

時代は代わり、20年程前から徐々に児童の入所希望が減りだし、国からも障害児入所施設の見直しが提言され、誠に残念ですが令和3年6月30日を以て障害児入所施設としての役割を終える事となりました。とはいえ、施設の規模としてはこれまでとは変わりなく、更生部（成人部）と統合となり、施設の内容としては以下の通りとなります。

大照学園 更生部 60人（施設入所支援、生活介護）

授産部 50人（就労継続、生活介護）

相談支援事業

短期入所 日中一時支援

尚、18歳以上の方の短期入所、日中一時支援のご利用を希望される場合にはご相談ください。

大照学園 理事長

細井宏俊